

諦めない心の三大栄養素

～良き 教之×支之×まねび～

▶山内先生は『教』という字がもつ意味も説明された。

慶應義塾大学
体育研究所 教授

山内賢先生

一秒一秒に 最大の投資を

LeaderShip Project



10月6日に本校体育館でLSP講演会が開催された。今回の講演では本校OBで現在慶應義塾大学体育研究所教授の山内賢先生が『諦めない心の三大栄養素～良き 教之×支之×まねび～』と題した講演を行われた。

▲山内先生は物事を見る視点についても説明された。

講演後の取材で山内先生は今の仕事に就いて良かったと思うことを「生徒たちの悩み、何とかが答えようとし、彼らの支えになるうとする自分になったこと。親が大学教授だったので、教育に関わる仕事に憧れた。先生になろうと決心し、そこから諦めずにやってきた結果、今の自分がある。大学は最後の教育の場なので、そこにいられることはうれし

い」と微笑まれた。また今回の講演会を振り返って「大学の教員として色々な生徒を見てきて、最近の生徒は自分を感じてしまいう人が多いと感じている。今回は教頭先生に『できるはずなのに挑戦しない生徒がいるので彼らにメッセージを送ってほしい』と頼まれて講演をした。相手に物を『納得させる伝え方』と『説得させる伝え方』がある。生徒たちに自分が伝えたかったことを納得して聞いてもらえたのか心配だ。生徒たちに伝えきれなかったという思いがあり少し悔しいので、また機会があれば挑戦したい」と明かされた。

山内先生は講演で「『コーチ』という言葉は語源が『物を運ぶ』という意味の『coach』という単語から来ており、君たちにとってのコーチである先生は生徒をもっと高見へ導くものだ。だから先生たちともしっかり話して自分を伸ばしていつてほしい」と話された。加えて目標の立て方について「まず目標を立て、逆算して小さなことをやっていき、やりたい自分のために時間を使っていけばいい。みんな与えられる時間は平等だから、一秒一秒を大切に自分自身に最大の投資をしていってほしい。また困ったときには先生に相談したり、友だち同士でわからないことを話し合ったりして解決していってほしい」とアドバイスされた。

最後に山内先生は本校生徒に向けて「君たちならもっとできるはずだ。だから諦めてはいけない。もっと上を目指して、自分たちのやりたいことを明確にし、何のために大学に行くのかをしっかりと考えることが大切だ。高校生のうちにやりたいと思っていることを自分の心に柱としておいてほしい。でもそれが一本だけでは折れてしまったときにだめなので、二、三本もっておくというと思う」とメッセージを送られた。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部
彦根市金亀町4番7号